

ワークショップ（ポッドやライドのモックアップ検証）

2024 年5月 28日

1. ポッドやライドのモックアップ検証

「REBORN 体験ルート」の展示体験の概要を説明し、その後、実物大モックアップで3つの展示体験とブースなどのサインを確認しました。

① ミライのライド

実際の大きさを確認し、壁の映像の高さや見やすさなどを確認しました。



写真①:ミライのライド 確認の様子

○主な意見

- ・映像のスピード感が早すぎると目が回る
- ・映像の光や大きい音が苦手な人がいる
- ・人だかりを配慮し、字幕は上部表示がいい
- ・映像の高さはもう少し高い方がいい
- ・車いすや背の低い人は画面が見つらいので床にゼブラゾーンを設けてほしい

② サイン

サインの文字の見やすさやサインの高さなどを確認しました。



写真②:ブースサイン 確認の様子

○主な意見

- ・前に人がいると見えない。ロゴの位置と説明の位置を上下逆にした方がいい
- ・光の当たり方で見え方が変わる
- ・文字の青や緑は弱視の人には見えにくい
- ・視覚障がい者が情報を得られない
- ・2次元バーコードを設置して、WEB ページや音声読み上げできないか
- ・説明文にはルビはあるか

③カラダ測定ポッド

ポッドの入り口の大きさや操作パネルの高さや位置などを確認しました。



写真③:カラダ測定ポッド 確認の様子

④カラダ測定ポッドに設置されるモニター

文字の大きさや見やすさなどを確認しました。



写真④:カラダ測定ポッド内のモニター 確認の様子

○主な意見

- ・カーテンによる遮閉感は1人で入りづらい、開閉が難しい
- ・介助者が一緒に入る場合、センサーやカメラに問題ないか
- ・入口の正面に操作盤やモニターがある方が、車いす使用者は使いやすい
- ・出入口の間口1,350 mmは狭い
- ・入口付近のカウンターが出っ張っていて入りづらい
- ・リーダーが右側にしかない。左手しか使えない場合、手が届きにくいので手前にしてほしい
- ・リセット(戻る)ができるようにしてほしい
- ・カメラ(上下)の位置と向きを調整できないか
- ・カメラ選択について車いすに座る高さや身長に差異がある
- ・カメラの撮影枠に収まる位置に移動することが難しい
- ・視覚障がい者がわかる音声案内にしてほしい
- ・自身の情報については音声で聞きたい
- ・「立ってください」の表示ではなく、座ったまま体験できる事がわかる表現にしてほしい
- ・家族や介助者と一緒に入る時、体験者の区別ができるのか

2. みんなトイレのサインと並び方

2月 29 日のワークショップを踏まえて、並び方の考え方について提示しました。また、みんなトイレのサインやコンセプトボード、触知図のイメージと、表示するピクトサインの種類や位置、トイレの空き情報案内について事務局案を説明しました。

3班に分かれて、トイレサインのピクトの種類とコンセプトボードの記載情報についてディスカッションしました。



写真⑤:班ごとのワークショップの様子



写真⑥:班ごとのワークショップの様子

○主な意見

コンセプトボード

- ・いろんな人の中に多様な性表現(SOGIESC)の人がいるとわかるものになればいいと思う
- ・どういう人がどういうことに困っているのかを具体的に表現することが大切
- ・外見から困っていることがわかりにくい人に対しても譲り合いの精神が生まれるようなメッセージになるといい

サイン

- ・共用トイレブースには男女共用マークが必要
- ・共用トイレのピクトは白黒がいい
- ・ブース7、8は並び列の先頭から遠いので、ピクトサインを大きくしてはどうか
- ・弱視の人は壁突き出しのピクトだけでは判別できない。入口近くの見えやすい位置(高さ150 cmくらい)にもピクトサインが必要。また。色で男性・女性専用と分かる表示が必要